

2018*春夏号

ゆうすかわらばん

VOL.21

函館市青年センターの広報紙

青年センターの庭にはいろんなお花が咲いています。



問題：これはどこのサークルさんでしょうか？



お兄さんに何を教えてもらっているのかな？



にゃん吉は日向ほっこが好きみたいです。



いつでも 誰でも ココロは青年！



TAKE FREE



8月のワークショップ

未来大学院生の八城さん考案のブロック型のコンピュータを組み合わせてプログラミングを体験するというもの。通常とは違う道具や方法を体験することでプログラミングの大事な部分が見えてきます。



8月のワークショップ

電気工作は細かい作業が多くてちょっと大変そう!



3月のワークショップ

スクリーンの前でサンプルプログラムと自分の体の動きをあわせながら、イメージをつかみます。



8月のワークショップ

プログラム通りに動いた時には「やった!」と歓声が! 最後は自作の作品とともに記念撮影です。



3月のワークショップ

最後は発表会。みんなの迫真の演技が大盛り上がり!

未来の人材育成 プログラミング ワークショップ

プログラミング教育を学校教育に導入する動きは世界的に広まってきています。日本でも2020年度より小学校で必修化されます。青年センターのプログラミングワークショップでは、コンピュータの仕組みを理解し、ITを活用してアイデアを具現化する力を身につけるとともに課題に試行錯誤しながら主体的に創造的に取り組んでいく姿勢を育むことを目的としています。単に職業スキル(コードを書く)を身につけるのではなく自ら考えたことを組み立て、表現することを重要と考えます。



5月のワークショップ

難しい内容に挑戦中。大学生のお姉さんのアドバイスを真剣に聞いています。



5月のワークショップ

休憩タイムにはみんなでピザ作り!



部活帰りの学生さん。「ここはポットやレンジがあり、食事後に勉強できるのでありがたいです」とのこと!



勉強スペース応援DAYで配る駄菓子は「バラエティショップあさひや」さんから仕入れていきます。



お腹いっぱい食べて、勉強頑張るね!



年末から年始にかけて絵馬を設置! みんなの合格を祈って絵馬は函館八幡宮に奉納します。



18時の勉強スペースの様子。学校帰りの学生さんが徐々に多くなっていきます。



テスト前になると勉強スペースから溢れるほど!



「ラーメン出来ましたよ〜!」と掛け声をかけたら、すぐに長蛇の列が!!!

学生さんの強い味方 勉強スペース

学校で勉強したくても下校時刻や部活があって遅くまで残れず、家ではついテレビやスマホを見てしまう…。勉強に集中できる場所はなかなか無いものです。青年センターのロビーの一角には勉強や読書、調べ物などに最適な「勉強スペース」があります。多くの学生さんが受験勉強や定期テストの勉強をするために利用しています。そのような頑張る学生さんを応援するために青年センターでは「勉強スペース応援DAY」をメインに、さまざまな活動を行っています。



劇団G4のメンバーがお手伝い!

特別企画「クッキングパパの手作りラーメン」の日!



受験を終えた学生さんからいただいた参考書など。過去5年以内に発行のものを受け付けています。



勉強スペースを利用するときは心得を守るべし!

学校と家だけが居場所じゃない!

青年センターの若者の居場所づくり事業

青年センターでは、「若者の居場所づくり事業」として、若者が気軽に立ち寄れる場所や、学校では体験できない事業などを提供をしています。現在は、「勉強スペース」と「プログラミングワークショップ」を実施しています。ここでは、その2つの事業の内容についてご紹介します。

函館の学生を応援します!

千代台周辺の学校に通う学生さんにとって、青年センターの勉強スペースは「使いやすい勉強に集中できる場所」「夜遅くまで開館して学校帰りに勉強できる場所」として定着しているようです。緊張感の漂う図書館とは違い、柔軟な環境の中で勉強できるのが特徴です。机には、一席ずつLEDライトがあり、隣の席との間に仕切りを設けています。お菓子等の軽食ならスペース内で食べることができ、気分転換したいときはスペースの外で食事したり休んだりすることもできます。

元々、青年センターに勉強スペースはありませんでした。ロビーの低いテーブルで勉強する学生さんの姿を見たスタッフが、勉強できる環境を整えてあげたいと思ったのがきっかけで、2013年に開設しました。それから、センター周辺の学校に通う学生さんが利用するようになり、情報が口コミで広まっていきました。今でも多くの学生さんが利用しています。

ただ勉強できる場所を提供して終わりではありません。勉強を頑張る学生さんにリラックスしてもらいたい。毎週木曜日にお菓子を配布する「勉強スペース応援DAY」という活動も行っています。たまに「特別企画」もあり、お菓子の代わりに、青年センターのクッキングパパこと料理好きの洞内スタッフがたこ焼きやラーメン、せんべい汁などを作り、学生さんたちに振舞います。特別企画の日には、青年センターを利用している青年団体さんもお手伝いしてくれます。

ときどきマナーを守らない学生さんがいます。そんな人にはスタッフが愛を持って叱ります。多くの学生さんは、次に利用する時にはきちんとマナーを守ってくれます。中には「進路が決まりました!」今までありがとうございました。いつもあなたかく接してくれて本当にうれしかったです」と報告してくれる学生さんもいます。

学校や塾のように学生さんに直接関与はせず、かと言って放置したままでもない、そんなちょうど良い距離で、私たちは学生さんを応援しています。(中村友美)

アイデアを形にする力

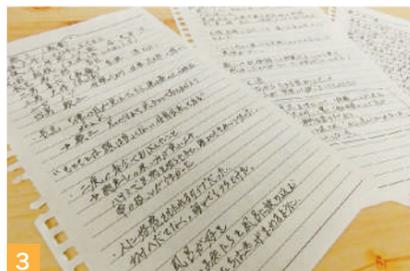
青年センターでは、小学4年生以上を対象にScratchというプログラミング言語を使用したプログラミングワークショップを開催しています。今年も4回開催しました。講師は公立はこだて未来大学教授の原田泰先生です。進行役は未来大学院生の八城さん、飯塚さんがそれぞれ担当してくれました。

5月は中上級向けの講座で、変数を使ったブロック崩しゲームを作りました。子どもたちは変数を使うのは初めてでしたが、大学生のお兄さん、お姉さんにアドバイスをもらいながら、いつもより難しいプログラムに挑戦していました。中には「未来大生よりすごい!」と先生から称賛された子もいました。8月と9月はパソコンを使わないプログラミング教室でした。様々な条件が組み込まれたブロックをつなぎ合わせてプログラムを作ります。ブロックを直接つなぐため、いつもと勝手が違います。はじめは少々戸惑っていましたが、仕組みは同じなのですぐに思い思いにつなげていき、プログラムを完成させていきました。最後は一人一人のプログラムを一つ一つ大きなプログラムを完成させました。最後までちゃんと作動するかどうかドキドキで見守りました。アナログな方法でのプログラミングを体験する活動でした。

3月には題して「スクラッチ劇場で大勝利!」を開催しました。与えられたテーマの中、自分で作ったプログラムをスクリーンに投影し、その映像の動きに合わせて子どもたちが演技するというもの。ちゃんと落ちも作ります。これにはみんな大爆笑でした。どれも4時間以上の長いワークショップでしたが子どもたちは最後まで夢中で作業に取り組んでいました。

私たちがこれらのワークショップで一番大切にしていることは、大人が一方的に教えるのではなく子どもたちと一緒に考えるということです。単にコードを書く能力を教えるのではなく子どもたちが自ら考え、考えたことを組み立て、それを表現する力を育むことが重要だと考えています。30年度も子どもたちの楽しい笑顔に会えるのを楽しみにしています。(二浦典子)

函館生まれ函館育ち。
7歳から高校生まで、市内の道場で少林寺拳法を習う。
現在は市内大学で広告論や経済学などを学びながら、函館野外劇の殺陣チームに所属。官軍役などを演じる。
絵を描くことも好きで、野外劇の殺陣チーム募集のポスターなども手掛けている。



1 青年センターでの稽古の様子。この時の黒澤さんは土方役。
2 殺陣チームの息の合った演技は、迫力がありながらもリズムカルで見ごたえがある。
3 土方歳三について調べたノートの一部。「好物：たくあん漬」「熱い風呂が好き」など土方のプライベートも書いて面白い。

MPD法人 市民創作「函館野外劇」の会
くろさわ はるか
黒澤 春花さん

殺陣
チーム



役作りを徹底し、函館野外劇の殺陣シーンをより魅力的に見せたい。

青年センターで活動する若者たち！ PART2

サークルの方にインを通してサークルをこうコーナーです。どの思いを持ってサークル活動しているのか見てみましょう！



マーチングを通して、楽器の面白さ、いろんな人との出会いを体験してほしい。

マーチングとの出会い

4歳から中学に入るまでピアノを習っていましたが、体を動かすことも好きだったので、中学から高校まではテニスに打ち込んでいました。社会人になると、仕事の毎日でしたが、徐々に慣れていき、「仕事だけでなく何かを始めてみたい」と思うようになりました。そんな時、親戚が所属するマーチングバンドの演奏を観に行きました。当時の私には、「動きながら楽器演奏をする」演奏の仕方がとても新鮮でした。そして、音楽も体を動かすことも好きな私にとって、両方できるマーチングはとても魅力的でした。

やりがい・楽しいこと

社会人でマキシマムの練習に参加していくことは大変な時もありますが、仕事以外に、自分を支えるものがあることは大切だと思います。例えば、仕事などで上手くいかないことがあっても、マキシマムに来て、同じ志を持つ仲間に出会うことで、リフレッシュになり、前向きになることができます。また、マーチングを通していろんな人に出会うことが出来ました。普通に生活しているだけでは交流することのない学生や同年代の人と一緒に活動していくという縁が繋がっていき、とても面白く楽しいですね。仲間を大切に作る気持ちも強くなりました。

マキシマムの
アピールポイント

マーチングで使われる管楽器は「ビューグル」と「プラス」の二つに分かれています。プラスは、高音でキレイな音が出るのが特徴で、吹奏楽やオーケストラで使用されている楽器である。一方、ビューグルは、マーチングの元祖である軍楽隊で使用された楽器である。そのため、ビューグルは低音で音に厚みがあり、大きな音が出るのが特徴である。

しかし、ビューグルは扱いつらく、現在はプラスを使うマーチングバンドが主流になっている。道内のマーチングバンドでビューグルを使用しているのはマキシマムのみで、マーチングの伝統を受け継ぐ楽器を使用しているのがマキシマムの魅力である。また、マキシマムでは楽器を貸し出しているため、自分で用意しなくても良い。

函館生まれ函館育ち。
北海道函館工業高等学校の電子機械科に進む。
卒業後JR北海道に就職し、現在は新函館北斗駅で勤務している。
マキシマムでの経験を活かし、高校生を対象にマーチング指導を開始。その活動が評価され、2014年に『函館市勤労青少年サークル育成指導賞』を受賞。現在もその活動を続けている。



1 ライブ本番の岩本さん。全員が心を一つにして決めた演奏とフォーメーションは圧巻だった。
2 「マキシマムライブ2018」に向けて練習するメンバー。この日はライブ直前、朝から夜まで練習していた。
3 新築の家にある防音室シアタールーム。自宅でも本格的な練習ができる。趣味の映画も大迫力で楽しんでいる。

「マキシマム」との出会い

マーチングに出会ってから自分もやりたいと思いました。偶然、高校の後輩がマキシマムに所属しており、一般のマーチングバンドはすぐに見つけられました。22歳の時、青年センターで練習中のマキシマムの元へ訪れ、入団を申し出たことは今でもよく覚えています。しかし、当時の私はマーチングで使用する楽器の演奏経験は無く、全くの初心者でした。今ではスネアドラムという全体のリズムをとる重要な楽器を担当していますが、入団した時の時は先輩にドラムの演奏の仕方を一から教わっていました。

これからの目標

全日本マーチングバンドコンテスト(以下、全国大会)に再び出場することです。マキシマムは過去に2度、全国大会に出場経験があります。1度目は私が入団した年で、新人ながら私も全国大会出場を体験しました。私が先輩となった今、マキシマムを再び全国大会に導けるよう頑張りたいです。また、迫力あるマーチングを披露するには団員数も重要なため、団員確保もマキシマムの大きな課題です。現在、約30名で活動していますが、春には団員の学生さんが卒業や就職のためマキシマムを引退します。函館に残る人は少ないですね。函館でマーチングを長く続けてくれる人を育てられたらと思います。

マキシマム * お問い合わせ先

初心者大歓迎です！
一緒にマーチングを楽しみましょう♪
maximum_hkd@yahoo.co.jp

演劇との出会い

小さい頃から「人前で自分を表現する」ことが好きでした。例えばお母さんとスーパーに行くと、他のお客さんの前で歌ったり、踊ったりして、自分で表現したのを見てもらうことが好きでした。そのため、将来は歌手や役者、ダンサーなど自分を表現していく仕事がしたいと思っていました。中学では演劇部と合唱部に入学しましたが、演劇が面白く、高校に入っても演劇部に入学しました。また、先輩の伝手もあり、野外劇の殺陣チームにも入りました。高校の演劇部では、全道大会にも出場しました。

やりがい・大切にしていること

良い劇を作り上げるためにメンバーと意見がぶつかることもありますが、みんなで協力して1つの劇を完成させていくことにやりがいを感じます。また、私は「役作りを徹底的にやる」ことを大切にしています。野外劇では箱館戦争のワンシーンを演じますが、当時の時代背景を掴むために、箱館戦争に関する資料や小説をたくさん読みます。状況を知ることもちろんですが、官軍と土方軍それぞれがどのような意思を持ち戦ったのか、人間関係はどうだったかなどを徹底的に調べ、担当の役の役作りをします。形だけでなく、決戦に挑む当時の人の本当の姿を演じたいと思っています。

「函館野外劇」の会
殺陣チームに入団した理由

7歳のころから少林寺拳法を習っており、武道にとっても興味を持っていました。そのため、剣術の達人が多い新撰組を尊敬しており、中でも、斎藤一、沖田総司、近藤勇は子どものときから憧れの存在でした。中学生の時に野外劇の殺陣チームを知り、「殺陣」はまさに、「自分を表現していくこと」と「武道」が融合したもので、自分にとって理想的な形だと思いました。野外劇に入ってから今年で5年目になり、今では殺陣チームのベテランのメンバーの一人として重要な役も演じさせていただいています。

これからの目標

「函館野外劇」の会には、「殺陣」「フラッグダンス」「ソーラン踊り」のチームがありますが、現在どのチームも人数不足です。私は殺陣チームに所属していますが、人が足りないときはダンスチームも掛け持ちします。野外劇当日は殺陣が終わったらすぐに衣装に着替え、ダンスを踊り、それを2日間繰り返すこともありました。人数不足によって一人の負担が重くなっています。函館野外劇に出演する面白さを次の世代の人にも繋げたいと思っています。そのためにも殺陣のシーンをより魅力的に見せ、函館野外劇に興味を持ってもらえるように頑張っていきたいです。

函館野外劇の誕生

五稜郭商店街活性化について意見を求められたフィリップ・グロード神父は「五稜郭のロケーションを活かし、函館地方のダイナミックな歴史をテーマに野外劇を始めてはどうか」というアドバイスをしました。これが函館野外劇の誕生のきっかけである。神父の故郷では、地域おこしの一環として、古城と前庭を舞台にその地方の歴史を題材にル・ビエフ野外劇が上演されていた。

このことを受け市民有志はフランスへ渡り、ル・ビエフ野外劇を視察。大きな刺激を受け帰国し、2年後の1988年夏、第一回目の市民創作函館野外劇がスタート。今年で31回目になる。内容はアイヌと倭人の戦い、高田屋嘉兵衛の活躍、黒船の来航、五稜郭築造、箱館戦争、函館大火など。出演者・スタッフはすべて市民が担当する。

「函館野外劇」の会 * お問い合わせ先

フラッグダンス、殺陣、
ソーラン踊りの出演者募集中！
0138-56-8601
office@yagaigeki.com (事務局)

青年センター スタッフ紹介②

スラリとしています

函館に住んで丸2年になりますが、食べ物が美味しく飽きません。行きたいお店も沢山あるのですが、時間とお金が足りません…。

おいわけ あやか
追分 彩加

- サカナクションのライブが生きがい。
- 週末の外食&暴飲暴食も生きがい。
- 唱歌音の動画にハマる変態主婦。

明るい女性スタッフはセンターのエネルギー源!



食べ物美味しいところ。そして、函館で素敵なお店と知りあえたところ♡

みうら のりこ
三浦 典子

- 食べ歩きが大好き♡
- でも健康も気になるのでヨガもやっています。
- そして「終活」を考えはじめた今日このごろ。

函館の好きなところを聞いてみたニヤ!

街全体がインスタ映えるところ! 風景・ポートレート・飲食物など素材が豊富でしかも質が高い! 夜景は毎日見ても飽きないですね。



クッキング・パパと呼ばれています(笑)

料理をするときは赤いエプロンです!

どうない きだはる
洞内 定晴

- 写真家(プロカメラマン歴24年)
- 美食家(最高の食材による料理を追及する人)
- ネットゲ民(MMO歴13年)

和洋折衷の街並み。函館を離れて生活をエンジョイしていたが、リターンして初めてこの函館の多様性に溢れた街並みが好きになりました。

青年センターの長老! みんなに頼りにされています!



こした けんじ
越田 健司

- 齢の割には今もって好奇心が強い。
- 音楽等、リズムのあるものを好む。
- 春菊・三つ葉が今もって苦手。

元町の景観も素敵ですが、芸事好きって人が多いのもいいところ。さらに素敵なお店になってもらえればうれしいですね!

たけだ かおる
武田 薫

- 寿司のウニが苦手(それ以外のネタは全部OK)。
- 自転車や自然、動物が大好き。
- デジタルもいけど、やっぱりアナログも好き。



新しいこと、始めてみませんか?

青年センターで!

2018年上半期
青年センター主催講座情報

ランニング 午後活 RUNNING

講師 吉田 絵理 *よしだ えり
日時 毎月2回/土曜日 14:30~16:00
※開催日は月ごとに異なるため、要確認。
受講料 500円/1回 定員 20名



函館マラソンを完走したい、ランニング仲間を増やしたい、普段の運動不足を解消したい、という方におすすめです。

自宅で簡単 イタリアン♪

講師 松原 直美 *まつばら なおみ
日時 7月12日(木) 9月13日(木) 11月15日(木) 1月24日(木) 3月28日(木)
19:00~21:00
受講料 1500円/1回 (材料費込み) 定員 12名



毎回バスタを基本とし、スーパーなどで購入できる食材でバスタ+1品を作ります。

女性も男性もボディメイク! 新感覚エクササイズ バレトン

講師 山本 沙優美 *やまもと さゆみ
日時 毎月4回/火曜日 19:15~20:15
※開催日は月ごとに異なるため、要確認。
受講料 500円/1回 定員 25名



フィットネス・バレエ・ヨガを組み合わせた運動です。全身の筋力を鍛え、シェイプアップできます。

ポップダンスでシェイプアップ♪

講師 高橋 郁子 *たかはし いこ
日時 5月12・19・26日(土) 6月2・9・16・23日(土) 7月7・14・21・28日(土)
19:15~20:15
受講料 800円/1回 定員 25名



今話題の曲で踊って楽しくシェイプアップ! 健康管理一般指導員の資格を持つ先生が教えてくれます。

和食料理人直伝! おもてなし料理教室

講師 川嶋 祐輔 *かわしま ゆうすけ
日時 7月22日(日) 14:00~16:00
受講料 2000円(材料費込み) 定員 12名(16歳以上)



身近にある安価な旬の食材を使い、一汁三菜(和食の基本)を学びます。

どんな野菜もかんたん調理! 野菜ソムリエの料理教室

講師 三浦 由貴子 *みうら ゆきこ
日時 偶数月の第1土曜日 14:00~16:00
※イベントと重なる場合は、開催日変更のため、要確認。
受講料 1200円(材料費込み) 定員 12名



毎回旬の野菜をひとつ取り上げ、「テーマ野菜」を使用した料理(数品)の作り方を学びます。

親子で! 手作りお菓子講座 チョコチップマフィン編

講師 犬竹 美紀 *いぬたけ みき
日時 7月30日(月) 13:30~15:30
受講料 1200円(材料費込み) 定員 6組(小学生と保護者)



夏休みの自由研究におすすめです! 食べるだけではなく、お菓子を作ることで新たな発見を!

女性にはうれしいことばかり! ひめトレ&やさしいヨガ

講師 梶原 陽子 *かじわら ようこ
日時 毎月2回/金曜日 14:00~15:00
※開催日は月ごとに異なるため、要確認。
受講料 500円/1回 定員 16名



“ひめトレポール”を使って、下半身の筋肉を鍛えます。ぽっこりお腹を引き締め、尿失禁を予防できます。

▶ここで紹介している講座は受講生を募集しています。参加してみたい講座を見つけたら、確認したいことなどありましたら青年センターまでご連絡ください。 ☎0138-51-3390

9/2 青年センターフェスティバル 2018



青年センターで活動するサークルによるステージ発表や飲食販売、ワークショップなどを中心としたイベントです。ステージでは、大迫力のよさこいやマーチング演奏、ダンス、合唱などを若者たちが披露! 焼きそばやカキ氷など出店も充実しています。その他、たくさん企画をご用意して皆さんのお越しをお待ちしています! 詳細は決まり次第、青年センターHPで公開します。

7/7 七夕まつり



元気いっぱい歌ってくれた子に駄菓子の詰め合わせとヨーヨーをプレゼント! 駄菓子の詰め合わせはくじ引きで1等~4等を用意しています。

場所: 青年センター玄関前 時間: 17時~20時



2018年上半期 イベント情報

今から予定を空けてニヤ!



みうら副センター長老おすすめ本



ふたご 藤崎 彩織 *著 2017年10月28日 *発行

今回ご紹介するのは若者に人気のバンド「SEKAI NO OWARI」のメンバーSaoriの初小説です。処女作にして直木賞候補に上がり、話題になりましたね。「ふたごのようだと思っている」月島が主人公夏子に言った言葉から始まるこの小説は、前半、主人公と月島が出会い月島に振り回されながらもどうしても惹かれていく夏子の心の葛藤が切なく描かれています。どうしてわがままで自分勝手にましてや夏子のことを好きにもなってくれない男から離れることができないのか不思議でした。後半からはバンド結成から音楽業界から声をかけられるまでの話です。ここで自叙伝的な小説であることに気がつきます。内容はエキセントリックで壮絶な経験をしたものでした。主人公と月島の関係は決して他人には理解できないものでしょう。そしてなぜ「世界の終わり」なんて奇天烈なバンド名なのかもなんとなく解せたような気がしました。

青年ライブラリーからのお知らせ

青年センタースタッフの おすすめ図書

お互いのことを「ポスト団塊ジュニア世代」と「ゆとり世代」と呼び合う、40代の上司と20代の若手社員お互いの価値観の違いや関係性を描いたお話です。小さな缶詰製造会社「殿山缶詰」の営業部は6名しかいなく、そのうち3名は若手社員。部長である久保見の指導に腹を立てていた若手社員の飯尾は、日頃の鬱憤を晴らそうと他の2人と手を組み、パワハラ・損害賠償・裁判などの言葉をちらつかせて久保見を謝罪させることに成功。これをきっかけに、ことあるごとに部下が上司を訴えようとする事態が頻発してしまいます。この事態をなんとかしようと、課長の楠木、寺石は弁護士力を借りて反撃を開始しますが、ますます関係が悪化したところで、会社を買収されるかもしれない事態に…! 「ポスト団塊ジュニア世代」と「ゆとり世代」が分かり合える日はくるのか? 「殿山缶詰」は買収されてしまうのか? 法律にもちょっとだけ詳しくなりたいけど、くぐくぐ読める一冊です。ぜひ、ご一読ください!

訴訟合戦 オレ、あした、部長のこと斬るわ

竹内 謙礼 *著 2017年12月21日 *発行



おいらスタッフのオススメの本

青年ライブラリーについて * 青年センター2階に図書コーナーがあります。1階受付にて貸出しも行っていきます。貸出期間は最長2週間、1人3冊(新刊は1冊のみ)までです。

センター長コラム column

函館市青年センター広報紙ゆうすかわらばんをご覧いただきましてありがとうございます。今回は特集において「若者の居場所づくり事業」を取り上げました。本事業では、プログラミング教室を行っており、公立はこだて未来大学の学生が小中学生にプログラミングを指導しています。ねらいは、人に説明したり、教えたりするプロセスから得られる『気づき』を学生に経験してもらうことです。わかっているつもりでもいざ人に説明をするとなるとうまくできなかつたりすることがあります。『きちんと説明ができる＝理解している』ということが言えるのではないかと思います。プログラミング教室の先生になることで、学生のみなさんの本業である学業にとってプラスになり、良い経験になってくれれば幸いです。また、2020年度に小学校で必修化されるプログラミングは、教えてほしいというニーズもより強まっていくことが予想されます。そんなニーズにもお応えできる事業です。

今後の青年センターのプログラミング教室に
ぜひご期待ください！

岩川姫子スタッフが卒業しました！

キュートな
笑顔に癒されました♡



今までありがとうございました！

企画・発行／ 函館市青年センター

発行日／ 2018年3月31日

印刷／ (株)プリントハウス

制作／ 函館市青年センタースタッフ

中村 友美

堺 千里

加藤 芽衣

— ご利用方法 —

① 青年団体の利用(青年団体登録が必要です)

- 青年団体登録をしていただくと、無料で部屋を借りることができます。

青年団体登録の条件…5名以上で組織され、満15歳以上29歳未満の青少年が半数以上を占めて継続的に活動する団体。

- 利用したい月の2か月前の月初め第1日から窓口先着順に受付します。

※第1日が水曜日の場合は木曜が第1日になります。

※第1日の14時以降は電話でのご予約も可能です。

— 青年センターは市民みんなのセンターです。 —

青少年をはじめ市民の皆さまに広くご利用いただけます。キャッチフレーズは「いつでも 誰でも ココロは青年」。かつて青年だった方もこれから青年になる方も、いつでも誰でも気軽に使える施設です。「イベントを開きたい」「展示場所を探している」「会議や研修に使いたい」などご要望がございましたら、お気軽にお問合せ下さい。

② 一般団体の利用

- 青年団体が利用していない時に有料で利用できます。
- 政治や宗教活動、営利目的では使用できません。
- 利用したい月の前月の月初め第1日午前9時から、1階ロビーにて抽選を行います。
※第1日が水曜日の場合は木曜が第1日になります。
※1日の14時以降は電話でのご予約も可能です。

【使用料】 ※冬期間(11月～4月)は、()内の暖房費がかかります。

室名	収容目安	午前	午後	夜間
体育館	200名	各2,500円 (各1,750円)	各2,500円 (各1,750円)	5,000円 (2,000円)
第1クラブ室	24名	各700円 (各120円)	各700円 (各120円)	1,000円 (140円)
第2クラブ室	10名	各400円 (各70円)	各400円 (各70円)	500円 (80円)
会議室	48名	各800円 (各150円)	各800円 (各150円)	1,300円 (170円)
和室	10名	各600円 (各110円)	各600円 (各110円)	900円 (120円)
音楽室	15名	各300円 (各60円)	各300円 (各60円)	500円 (60円)
調理実習室	12名	各1,500円 (各110円)	各1,500円 (各110円)	2,000円 (120円)
相談室	10名	—	—	—
1階ロビー	70名	—	—	—

午前 9:00～13:00

午後 13:00～17:00

夜間 17:00～22:00

函館市青年センター

函館市指定管理者／函館市青年サークル協議会グループ

〒040-0013

北海道函館市千代台町27番5号 TEL 0138-51-3390

E-mail * info@hako-youth.com FAX 0138-51-3395

開館時間 * 9:00～22:00 (水曜のみ17:00～22:00)

休館日 * 年末年始(12月31日～1月3日)

